

従業員一人ひとりがCSRを推進します
そして、ステークホルダーのみなさまから信頼を頂戴し、当社グループの成長、さらには従業員の成長につなげるという好循環を生み出していきます

CSRの推進

近年、社会的責任(SR)に関する国際規格(ISO26000)が発行されるなど、世界的にCSRへの関心が高まっています。また当社グループも、CSRを果たし、お客さまをはじめ地域社会、株主・投資家、ビジネスパートナーなどステークホルダーのみなさまから信頼を頂戴することが、持続的な成長を遂げていくための基盤となると考えています。

そこで、当社グループは、従業員一人ひとりがCSRの推進に主体的・前向きに取り組むことができるよう、社内環境の整備を図っています。

具体的には、2004年3月、6つの行動原則からなる「関西電力グループCSR行動憲章」を策定し、さらに2005年5月には、グループの従業員一人ひとりがこれを自らの行動として実践できるよう「関西電力グループCSR行動規範」を明示しました。

また、推進体制として、社長を議長とする「CSR推進会議」を設置するとともに、職場ごとに「CSRキーパーソン」等を選任し、彼らへの研修やコミュニケーション等を通じて全従業員への啓発活動を展開しています。

当社グループは、こうした活動を通じて、従業員一人ひとりがCSRを推進しています。そして、ステークホルダーのみなさまから信頼を頂戴することで、従業員一人ひとりのやる気・やりがいを引き出して成長を促し、それがまた一層信頼を高めていくという好循環を生み出していきます。

関西電力グループCSR行動憲章

CSR行動原則

1. 商品・サービスの安全かつ安定的なお届け
2. 環境問題への先進的な取り組み
3. 地域社会の発展に向けた積極的な貢献
4. 人権の尊重と良好な職場環境の構築
5. 透明性の高い開かれた事業活動
6. コンプライアンスの徹底



CSRレポート2011

CSRレポートは以下のサイトからダウンロードいただけます
<http://www.kepco.co.jp/corporate/csr/report.html>

電力を安全かつ安定的にお届けするために

● 大切な人のための安全——安全文化の再構築

安全文化は当社グループの事業活動の根幹であり、その再構築は最重点課題です。美浜発電所3号機事故の反省はもとより、当社グループの従業員、委託人・協力会社のみなさま、地元のみなさまなど、大切な「人」のための安全が基本であると肝に銘じ、一人ひとりの安全意識が自然と行動に現れてくるような組織風土を醸成していきます。

とりわけ、原子力発電所においては、安全文化の再構築を着実に進めていくために、安全文化を評価する仕組みを導入しています。これにより、組織や人の意識・行動について、改善を要する課題や良好事例等を明らかにし、安全文化の状況を把握するとともに、より高い水準を目指し、改善を促しています。

● 技術・技能の維持・継承

技術・技能の維持継承については、専門技術・技能者制度をはじめとした様々な取り組みを推進することで、これまで蓄積してきた技術・技能をグループ全体で確実に伝承し、レベルアップを進めております。



発電所のタービン点検作業



かんでんコラボ・アート21



無限の可能性を拓く〜かんでんエルハート〜

● 経営資源の着実な投入

設備面においても、安全・安定供給のために必要な経営資源を着実に投入していきます。とりわけ、原子力においては、安全・安定運転を継続するため、最新知見を踏まえた更なる安全対策の他、高経年化対策や耐震裕度向上対策などの工事を着実に実施していきます。

地域社会の発展に向けた積極的な貢献

当社グループは、地域や生活に根ざした事業者として、地域の発展なくしては自らの発展はありえないという認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを推進しています。

地域社会の一員として、「地域のみなさまのお役に立ちたい」「地域のみなさまと活動をともにしたい」という思いをかたちにするため、各事業所では地域と連携し、清掃活動や地域イベントへの運営協力など、地道な活動を展開しています。

また、関西で盛んな学生スポーツのひとつであるアメリカンフットボールへの協賛(「KANDEN FLASHBOWL SERIES」)、障がいのある方の芸術活動を応援するためのアート公募展の開催(「かんでんコラボ・アート21」2001年～)、関西地域の文化振興活動としてのクラシックコンサートの開催(本店および各支店でそれぞれ実施)など、様々な活動に継続して取り組んでいます。

当社グループは、電力の安全・安定供給で、そしてスポーツ・文化支援などでも、地域のみなさまのお役に立ちたいと考えています。

人権の尊重と良好な職場環境の構築

当社グループは、「人権の尊重」を国際的な合意に基づく重要な責務であると認識し、グループの事業活動に関わるすべての人々にとって、差別のない、安全・健康で働きやすい職場づくりに努めています。

具体的には、女性社員のさらなる活躍に向けた取り組みや、高齢者雇用の推進、障がいのある方の自立と社会参加を目的とした雇用の促進などに取り組むとともに、従業員の安全意識の高揚・自主的な心身の健康づくりのサポートに取り組んでいます。

2011年度からは、全従業員を対象に、一人ひとりの違いを強みとして捉え、活かす取り組みを専任するダイバーシティ推進グループを新設し、活動範囲を広げています。

コンプライアンスの徹底

2002年、さらなる信頼の確立と風通しのよい企業文化の醸成を目的に、「関西電力コンプライアンス委員会」を設置しました。同委員会のもと、当社グループでは、コンプライアンスを「企業が社会に存在するうえで求められる責務」であり、「企業のすべての活動基盤」であると位置付け、法令などの社内外のルールの遵守はもとより一人ひとりのコンプライアンス意識向上に鋭意取り組んできました。

これからも、当社グループでは、コンプライアンス活動に主体的かつ着実に取り組み、社会のみなさまから賜う信頼を確固たるものにしていきます。